京都府小児慢性特定疾病医療費 疾病コード一覧

令和元年7月1日

※受給者証の「疾患群番号」欄に「疾患群番号一疾病番号」を記載

7117		百万」 11別1	こ「疾患群番号一疾病番号」を記載
	疾患群	6.5	<u> </u>
01	悪性新生物	001	悪性胸腺腫
		002 003	悪性黒色腫
		003	悪性骨巨細胞腫 悪性ラブドイド腫瘍
		004	<u> 応はファイト 歴場</u> ウィルムス腫瘍/腎芽腫
			横紋筋肉腫
		007	褐色細胞腫
			滑膜肉腫
			肝芽腫
		010	肝細胞癌
			気管支腫瘍
			胸膜肺芽腫
		013	甲状腺癌
		014	骨軟骨腫症
			<u>骨肉腫</u> 混合性胚細胞腫瘍
			据版
			絨毛癌
			上咽頭癌
		020	神経芽腫
			神経節芽腫
		022	腎細胞癌
		023	<u>腎明細胞肉腫</u>
			性索間質性腫瘍
			<u>線維形成性小円形細胞腫瘍</u> 線維肉腫
			胎児性癌
		029	<u> </u>
			多胎芽腫
		031	軟骨芽細胞腫
		032	軟骨肉腫
			副腎皮質癌
		034	平滑筋肉腫
		035	抱巣状軟部肉腫 まいた神経を見いませばない。
		036 037	未分化神経外胚葉性腫瘍(末梢性のもに限る。) 未分化肉腫
		037	未分化胚細胞腫
		039	明細胞肉腫(腎明細胞肉腫を除く。)
			網膜芽細胞腫
		041	ユーイング肉腫
		042	卵黄嚢腫
		043	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍(中枢神経系腫瘍を除く。)
		044	骨髓異形成症候群
		045	血球貪食性リンパ組織球症
		046 047	ランゲルハンス細胞組織球症
		047	<u>45及び46に掲げるもののほか、組織球症</u> 悪性神経鞘腫
		049	本住神経判理 異型奇形腫瘍/ラブドイド腫瘍
		050	下垂体腺腫
		051	奇形腫(頭蓋内及び脊柱管内に限る。)
		052	膠芽腫
		053	上衣腫
			松果体腫
			神経鞘腫
			神経節膠腫
		057 058	<u>神経節腫</u> 験
			<u>髄芽腫</u> 髄膜腫
		060	<u> </u>
		061	- <u>顕蓋地頭牌</u> - <u>頭蓋内胚細胞腫瘍</u>
		062	
		063	退形成性星細胞腫
		064	びまん性星細胞腫
		065	乏突起神経膠腫
		066	未分化神経外胚葉性腫瘍(中枢性のものに限る。)
		067	脈絡叢乳頭腫

	疾患群		
01	悪性新生物	068	毛様細胞性星細胞腫
01	芯注机工物	069	48から68までに掲げるもののほか、中枢神経系腫瘍
		070	急性巨核芽球性白血病
		071 072	急性骨髄性白血病、最未分化 急性骨髄単球性白血病
		073	急性赤白血病
		074	急性前骨髓球性白血病
		075	急性単球性白血病
		076	若年性骨髄単球性白血病
		077 078	成熟日細胞急性リンパ性白血病 成熟を伴う急性骨髄性白血病
		078	成熟を伴わない急性骨髄性白血病
		080	前駆日細胞急性リンパ性白血病
		081	T細胞急性リンパ性白血病
		082	NK(ナチュラルキラー)細胞白血病
		083	慢性骨髓性白血病
		084 085	慢性骨髄単球性白血病 70から84までに掲げるもののほか、白血病
		086	成熟日細胞リンパ腫
		087	Tリンパ芽球性リンパ腫
		088	Bリンパ芽球性リンパ腫
		089	オジャンリンパ腫
		090 091	未分化大細胞リンパ腫 86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫
		001	80から90までに掲げるもののほか、リンハ胆 アミロイド腎
02	慢性腎疾患	002	萎縮腎(尿路奇形が原因のものを除く。)
		003	家族性若年性高尿酸血症性腎症
		004	ギッテルマン症候群
		005 006	<u>寡巨大糸球体症</u> 腎無形成
		007	有無形成 多嚢胞性異形成腎
		008	多発性嚢胞腎
		009	低形成腎
		010	ポッター症候群
		011	<u>5 から10までに掲げるもののほか、腎奇形</u> 腎血管性高血圧
		012	月 1 1 1 1 1 1 1 1 1
		014	腎動静脈瘻
		015	腎尿管結石
		016	尿細管性アシドーシス
		017 018	閉塞性尿路疾患 膀胱尿管逆流(下部尿路の閉塞性尿路疾患による場合を除く。)
		019	17及び18に掲げるもののほか、尿路奇形
		020	単状分節性糸球体硬化症
		021	微小変化型ネフローゼ症候群
		022	びまん性メサンギウム硬化症 フィンランド型先天性ネフローゼ症候群
		023	フィンラント型光大性ネンローゼ症候群 膜性腎症
		025	20から24までに掲げるもののほか、ネフローゼ症候群
		026	ネフロン癆
		027	バーター症候群
		028 029	ファンコーニ症候群 I g A 腎症
		030	エプスタイン症候群
		031	急速進行性糸球体腎炎(顕微鏡的多発血管炎によるものに限る。)
		032	急速進行性糸球体腎炎(多発血管炎性肉芽腫症によるものに限る。)
		033	抗糸球体基底膜腎炎(グッドパスチャー症候群) 地質点性腎炎
		034	紫斑病性腎炎 ネイル・パテラ症候群(爪膝蓋症候群)
		036	非典型溶血性尿毒症症候群
		037	フィブロネクチン腎症
		038	膜性增殖性糸球体腎炎
		039	慢性糸球体腎炎(アルポート症候群によるものに限る。)
		040	メサンギウム増殖性糸球体腎炎(IgA腎症を除く。) リポタンパク糸球体症
		041	ループス腎炎
		043	29から42までに掲げるもののほか、慢性糸球体腎炎
		044	慢性腎盂腎炎
		045	慢性腎不全(急性尿細管壊死又は腎虚血によるものに限る。)
		046	慢性腎不全(腎腫瘍によるものに限る。) 慢性尿細管間質性腎炎(尿路奇形が原因のものを除く。)
		047	<u>慢性水細官间負性肾炎(水路奇形か原因のものを除く。)</u> ロウ症候群
	1	V 1 U	- / / / AT

	疾患群		疾 病
03	慢性呼吸器疾	001	先天性肺胞蛋白症(遺伝子異常が原因の間質性肺疾患を含む。)
03	患	002	特発性間質性肺炎
	忠	003	肺胞微石症
		004	気管支拡張症
		005	気管支喘息
		006	気道狭窄
		007	先天性横隔膜ヘルニア
		800	大天性中枢性低換気症候群
		009	先天性嚢胞性肺疾患
		010	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)
		011 012	特発性肺へモジデローシス
		012	囊胞性線維症 開塞性細気管末光
		013	閉塞性細気管支炎 慢性肺疾患
		001	一側肺動脈欠損
04	慢性心疾患	002	対象性 対象性
		003	エプスタイン病
		004	拡張型心筋症
		005	川崎病性冠動脈瘤
		006	冠動脈狭窄症 (川崎病によるものを除く。)
		007	完全型房室中隔欠損症(完全型心内膜床欠損症)
		008	完全大血管転位症
		009	完全房室ブロック
		010	左冠動脈肺動脈起始症
		011	古冠動脈肺動脈起始症
		012	10及び11に掲げるもののほか、冠動脈起始異常
		013	脚ブロック
		014	QT延長症候群
		015	狭心症
		016	心筋梗塞
		017	左肺動脈右肺動脈起始症
		018	重複大動脈弓症
		019	17及び18に掲げるもののほか、血管輪
		020	拘束型心筋症
		021	左室右房交通症
		022	左心低形成症候群
		023	三心房心
		024	三尖弁閉鎖症
		025 026	収縮性心膜炎
		020	上室頻拍(WPW症候群によるものに限る。) 多源性心房頻拍
		028	26及び27に掲げるもののほか、上室頻拍
		029	心筋緻密化障害
		030	心室細動
		031	心室中隔欠損症
		032	カテコラミン誘発多形性心室頻拍
		033	ベラパミル感受性心室頻拍
		034	32及び33に掲げるもののほか、心室頻拍
		035	心室瘤
		036	心臓腫瘍
		037	三尖弁狭窄症
		038	三尖弁閉鎖不全症
		039	僧帽弁狭窄症
		040	僧帽弁閉鎖不全症
		041	大動脈弁狭窄症
		042	大動脈弁閉鎖不全症
		043	肺動脈弁狭窄症
		044	肺動脈弁閉鎖不全症
		045	心内膜線維弾性症
		046	心房細動
		047	心房粗動
		048	静脈洞型心房中隔欠損症
		049 050	単心房症
			二次孔型心房中隔欠損症
		051 052	<u>不完全型房室中隔欠損症(不完全型心内膜床欠損症)</u> 先天性修正大血管転位症
		052	尤大性修正人血管転位症 先天性心膜欠損症
		054	元大性心膜火損症 総動脈幹遺残症
		055	総 <u>期</u>
		056	直帽ガガエ輪 大動脈弓閉塞症(大動脈弓離断複合を除く。)
		057	大動脈弓離断複合
		058	<u>クェリアムズ症候群</u>
	<u> </u>	500	/ 1 / / 一 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /

	疾患群		
04	相性心体虫	059	大動脈縮窄症
04	慢性心疾患	060	大動脈縮窄複合
		061	大動脈弁上狭窄症
		062	58から61までに掲げるもののほか、大動脈狭窄症
		063	大動脈肺動脈窓
		064	大動脈弁下狭窄症
		065	大動脈瘤(バルサルバ洞動脈瘤を除く。)
		066 067	バルサルバ洞動脈瘤
		068	多源性心室期外収縮 単心室症
		069	記動脈瘻
		070	肺動静脈瘻
		071	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻
		072	洞不全症候群
		073	動脈管開存症
		074	多脾症候群
		075	無脾症候群
		076	乳児特発性僧帽弁腱索断裂
		077	総肺静脈還流異常症
		078 079	部分肺静脈還流異常症
		080	肺静脈狭窄症 肺動脈弁上狭窄症
		081	末梢性肺動脈狭窄症
		082	肺動脈上行大動脈起始症
		083	肺動脈性肺高血圧症
		084	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
		085	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
		086	肺動脈弁下狭窄症
		087	肺動脈弁欠損
		088	肥大型心筋症
		089	ファロー四徴症
		090 091	フォンタン術後症候群 不整脈源性右室心筋症
		092	慢性心筋炎
		093	慢性心膜炎
		094	慢性肺性心
		095	モビッツ2型ブロック
		096	タウジッヒ・ビング奇形
		097	両大血管右室起始症(タウジッヒ・ビング奇形を除く。)
		098	両大血管左室起始症
05	内分泌疾患	001	アルドステロン症
		002	アンドロゲン過剰症(ゴナドトロピン依存性思春期早発症及びゴナドトロピン非依存性思春期早発症を除く。)
		003	エストロゲン過剰症(ゴナドトロピン依存性思春期早発症及びゴナドトロピ
			ン非依存性思春期早発症を除く。)
		004	後天性下垂体機能低下症
		005	大天性下垂体機能低下症
	1	006 007	下垂体性巨人症 偽性低アルドステロン症
	1	007	倫性低アルトステロン症 偽性偽性副甲状腺機能低下症
	1	009	
	1	010	異所性副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)産生症候群
	1	011	クッシング病
	1	012	副腎腺腫
	1	013	副腎皮質結節性過形成
		014	10から13までに掲げるもののほか、クッシング症候群
	1	015	グルカゴノーマ
	1	016 017	原発性低リン血症性くる病 インスリノーマ
	1	017	1
	1	019	17及び18に掲げるもののほか、高インスリン血性低血糖症
	1	020	精巣形成不全
	1	021	
	1	022	20及び21に掲げるもののほか、高ゴナドトロピン性性腺機能低下症
	1	023	甲状腺機能亢進症(バセドウ病を除く。)
	1	024	バセドウ病
	1	025	- 基緒性甲状腺炎
	1	026 027	橋本病 25及び26に掲げるもののほか、後天性甲状腺機能低下症
	1	027	異所性甲状腺
	1	029	甲状腺刺激ホルモン(TSH)分泌低下症(先天性に限る。)
	1	030	無甲状腺症
		031	28から30までに掲げるもののほか、先天性甲状腺機能低下症

	疾患群		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
25	1	032	甲状腺ホルモン不応症
05	内分泌疾患	033	高プロラクチン血症
		034	抗利尿ホルモン(ADH)不適切分泌症候群
		035	自己免疫性多内分泌腺症候群 1 型
		036	自己免疫性多内分泌腺症候群2型
		037	ゴナドトロピン依存性思春期早発症
		038	ゴナドトロピン非依存性思春期早発症
		039	脂肪異栄養症(脂肪萎縮症)
		040 041	ガストリノーマ カルチノイド症候群
		041	VIP産生腫瘍
		043	インスリン様成長因子1(IGF−1)不応症
		044	成長ホルモン(GH)不応性症候群(インスリン様成長因子1(IGF-1) 不応症を除く。)
		045	成長ホルモン (GH) 分泌不全性低身長症 (脳の器質的原因によるものに限る。)
		046	成長ホルモン (GH) 分泌不全性低身長症 (脳の器質的原因によるものを除く。)
		047	アンドロゲン不応症
		048	17β-ヒドロキシステロイド脱水素酵素欠損症
		049	5 α-還元酵素欠損症
	1	050	47から49までに掲げるもののほか、46, XY性分化疾患
	1	051 052	混合性性腺異形成症
		052	46, X X 性分化疾患 卵精巣性性分化疾患
	1	054	
	1	055	旅程後年後旅程 先端巨大症
	1	056	11 β - 水酸化酵素欠損症
		057	3 β-ヒドロキシステロイド脱水素酵素欠損症
		058	17 α −水酸化酵素欠損症
		059	21-水酸化酵素欠損症
		060 061	P 450酸化還元酵素欠損症 リポイド副腎過形成症
		062	19 かれ ト副育週形成症 56から61までに掲げるもののほか、先天性副腎過形成症
		063	多嚢胞性卵巣症候群
		064	多発性内分泌腫瘍1型(ウェルマー症候群)
		065	多発性内分泌腫瘍2型(シップル症候群)
		066	64及び65に掲げるもののほか、多発性内分泌腫瘍
		067	中枢性塩喪失症候群
		068 069	アルドステロン合成酵素欠損症
		070	低レニン性低アルドステロン症 68及び69に掲げるもののほか、低アルドステロン症
		071	カルマン症候群
		072	低ゴナドトロピン性性腺機能低下症(カルマン症候群を除く。)
		073	口渇中枢障害を伴う高ナトリウム血症(本態性高ナトリウム血症)
		074	腎性尿崩症
	1	075	中枢性尿崩症
	1	076	ビタミンD依存性くる病
	1	077 078	ビタミンD抵抗性骨軟化症 副甲状腺機能亢進症
	1	078	<u>副甲状腺機能化下症(</u> 副甲状腺欠損症を除く。)
	1	080	副甲状腺欠損症
	1	081	グルココルチコイド抵抗症
	1	082	先天性副腎低形成症
	1	083	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)単独欠損症
	1	084	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症
	1	085	81から84までに掲げるもののほか、慢性副腎皮質機能低下症(アジソン病を含む。)
	1	086	<u>日</u> 日
	1	087	リドル症候群
	1	088	ターナー症候群
	1	089	ヌーナン症候群
	1	090 091	バルデー・ビードル症候群 プラダー・ウィリ症候群
	1	091	マッキューン・オルブライト症候群
O.G	网匠岸	001	結節性多発動脈炎
06	膠原病	002	顕微鏡的多発血管炎
	1	003	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
	1	004	高安動脈炎
	1	005 006	多発血管炎性肉芽腫症
	1	006	抗リン脂質抗体症候群 シェーグレン症候群
	1	007	若年性特発性関節炎
	L	500	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

	疾患群		疾 病
06	膠原病	009	全身性エリテマトーデス
00	加多ルボル	010	皮膚筋炎/多発性筋炎
		011	ベーチェット病
		012 013	再発性多発軟骨炎 インターロイキンI 受容体拮抗分子欠損症
		014	家族性地中海熱
		015	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群
		016	クリオピリン関連周期熱症候群
		017	高IgD症候群(メバロン酸キナーゼ欠損症)
		018 019	TNF受容体関連周期性症候群 中條・西村症候群
		020	ブラウ症候群/若年発症サルコイドーシス
		021	慢性再発性多発性骨髄炎
		022	13から21までに掲げるもののほか、自己炎症性疾患
		023	強皮症
-		024 001	<u>混合性結合組織病</u> 1 型糖尿病
07	糖尿病	001	インスリン受容体異常症
		003	脂肪萎縮性糖尿病
		004	若年発症成人型糖尿病(MODY)
		005	新生児糖尿病
		006 007	2 型糖尿病 1 から 6 まで掲げるもののほか、糖尿病
	4-10-05-05	007	アルギニノコハク酸合成酵素欠損症(シトルリン血症)
80	先天性代謝異 常	002	アルギニノコハク酸尿症
	吊	003	N−アセチルグルタミン酸合成酵素欠損症
		004	オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症
		005 006	カルバミルリン酸合成酵素欠損症 高アルギニン血症
		007	高オルニチン血症
		008	高チロシン血症1型
		009	高チロシン血症 2 型
		010	高チロシン血症3型
		011 012	高プロリン血症 高メチオニン血症
		013	シスチン尿症
		014	シトリン欠損症
		015	ハートナップ病
		016 017	非ケトーシス型高グリシン血症 フェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)
		017	プロリダーゼ欠損症
		019	ホモシスチン尿症
		020	メープルシロップ尿症
		021	リジン尿性蛋白不耐症
		022 023	1 から21までに掲げるもののほか、アミノ酸代謝異常症 α 1-アンチトリプシン欠損症
		024	亜硫酸酸化酵素欠損症
		025	ウィルソン病
		026	オクシピタル・ホーン症候群
		027 028	先天性腸性肢端皮膚炎
		028	無セルロプラスミン血症 メンケス病
		030	24から29までに掲げるもののほか、金属代謝異常症
		031	エーラス・ダンロス症候群
		032	リポイドタンパク症
		033 034	31及び32に掲げるもののほか、結合組織異常症 家族性高コレステロール血症
		035	家族性複合型高脂質血症
		036	原発性高カイロミクロン血症
		037	高比重リポタンパク(HDL)欠乏症
		038	無β-リポタンパク血症 2/4かと20までに提ばるもののほか、昨年は謝思党庁
		039	34から38までに掲げるもののほか、脂質代謝異常症 カルニチンアシルカルニチントランスロカーゼ欠損症
		041	カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ 欠損症
		042	カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ Ⅱ 欠損症
		043	極長鎖アシルCoA脱水素酵素欠損症
		044 045	三頭酵素欠損症 3-ヒドロキシアシルCoA脱水素酵素欠損症
		045	3-ヒトロキシアジルしのA 脱水素酵素欠損症 全身性カルニチン欠損症
		047	短鎖アシルCoA脱水素酵素欠損症
		048	中鎖アシルCoA脱水素酵素欠損症
		049	40から48までに掲げるもののほか、脂肪酸代謝異常症
<u> </u>		050	GABAアミノ基転移酵素欠損症

	疾患群		疾 病
00		051	コハク酸セミアルデヒド脱水素酵素欠損症
80	先天性代謝異 常	052	テロシン水酸化酵素欠損症
	币	053	ドーパミンβ-水酸化酵素欠損症
		054	ビオプテリン代謝異常症
		055	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症
		056	50から55までに掲げるもののほか、神経伝達物質異常症
		057 058	<u> 先天性ポルフィリン症 </u>
		059	ウリジルニリン酸ガラクトース-4-エピメラーゼ欠損症
		060	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症
		061	ガラクトキナーゼ欠損症
		062	グリコーゲン合成酵素欠損症(糖原病〇型)
		063	グルコーストランスポーター1(GLUT1)欠損症
		064	糖原病Ⅰ型
		065	糖原病Ⅲ型
		066	糖原病Ⅳ型
		067	糖原病Ⅴ型 糖原病Ⅵ型
		068 069	糖原病Ⅷ型
		070	糖原病区型
		070	プルクトース-1. 6-ビスホスファターゼ欠損症
		072	ホスホエノールピルビン酸カルボキシキナーゼ欠損症
		073	58から72までに掲げるもののほか、糖質代謝異常症
		074	先天性葉酸吸収不全症
		075	74に掲げるもののほか、ビタミン代謝異常症
		076	アデニンホスホリボシルトランスフェラーゼ欠損症
		077	オロト酸尿症
		078	キサンチン尿症
		079	尿酸トランスポーター異常症
		080	ヒポキサンチングアニンホスホリボシルトランスフェラーゼ欠損症 (レッシュ・ナイハン症候群)
		081	76から80までに掲げるもののほか、プリンピリミジン代謝異常症
		082	副腎白質ジストロフィー
		083	ペルオキシソーム形成異常症
		084	レフサム病
		085	82から84までに掲げるもののほか、ペルオキシソーム病
		086	スクシニル-CoAリガーゼ欠損症
		087	ピルビン酸カルボキシラーゼ欠損症
		088	ピルビン酸脱水素酵素複合体欠損症
		089 090	フマラーゼ欠損症
		090	<u>ミトコンドリア呼吸鎖複合体欠損症</u> ミトコンドリアDNA欠失(カーンズ・セイヤー症候群を含む。)
		092	ミトコンドリアDNA枯渇症候群
			ミトコンドリアDNA突然変異(リー(Leigh)症候群、MELAS及びME
		093	RRFを含む。)
		094	86から93までに掲げるもののほか、ミトコンドリア病
		095	アルカプトン尿症
		096	イソ吉草酸血症
		097	グリセロール尿症
		098 099	グルタル酸血症 1 型 グルタル酸血症 2 型
		100	グルタル酸血症2型 原発性高シュウ酸尿症
			スクシニル-CoA:3-ケト酸CoAトランスフェラーゼ(SCOT)欠損
		101	症
		102	3-ヒドロキシ-3-メチルグルタリルCoA合成酵素欠損症
		103	3-ヒドロキシ-3-メチルグルタル酸血症
		104	3-メチルクロトニルCoAカルボキシラーゼ欠損症
		105	大天性胆汁酸代謝異常症
		106	複合カルボキシラーゼ欠損症
		107	プロピオン酸血症
		108 109	β-ケトチオラーゼ欠損症 メチルグルタコン酸尿症
		110	メチルグルダコン酸原症
		111	95から110までに掲げるもののほか、有機酸代謝異常症
		112	アスパルチルグルコサミン尿症
		113	異染性白質ジストロフィー
		114	ガラクトシアリドーシス
		115	クラッベ病
		116	ゴーシェ病
		117	酸性リパーゼ欠損症
		118	シアリドーシス
		119 120	<u> GM1−ガングリオシドーシス</u> GM2−ガングリオシドーシス
		120	IMME NOTATE OV

12		疾患群		
122 神経セロイドリホブスチン症	08	先天性代謝異		
124 ファーバー病 125 ファブリー病 126 ファブリー病 126 ファブリー病 126 ファブリー病 127 ボンベ病 128 マルトブルスルファターゼ欠損症 129 マメリンド・シス 130 ムコ多糖症 1型 131 ムコ多糖症 1型 132 ムコ多糖症 1型 132 ムコ多糖症 1型 133 ムコ多糖症 1型 134 ムコ多糖症 1型 135 ムコ多糖症 1型 136 ムコリビドーシス 11型 (I-csll病) 136 ムコリビドーシス 11型 (I-csll病) 137 ムコタ糖症 1型 138 139 120 138 120 138 120 138 120 138 120 138 120 138 120 138 120 138 139 120 138 139 120 138 139 120 138 139 120 138 139 120 138 139 120 138 139 120 138 139 130				
125 フェンド・シス 127 ボンベ病 128 マルチブルスルファターゼ欠損症 129 マンノンド・シス 130				ニーマン・ヒック病
126				
127				
128 マルテブルスルファターゼ欠接症 129 マンレドーシス 130 ムコ多糖症 120 131 ムコ多糖症 120 132 ムコ多糖症 120 133 ムコ多糖症 120 134 ムコ多糖症 120 135 ムコ多糖症 120 136 ムコリビドーシス 120 136 ムコリビドーシス 120 137 ムコリビドーシス 120 138 139 112から 138 12から 138 139 112から 138 12から 138 12から 138 139 112から 138 12から 138 12 12 12 12 12 12 12 1				ポンペ病
130 ムコ多糖症 1型 131 ムコ多糖症 1型 132 ムコ多糖症 1型 134 ムコ多糖症 1型 135 ムコ多糖症 1型 136 ムコッド・シスⅡ型 136 ムコッド・シスⅢ型 137 ムコッド・シスⅢ型 137 ムコッド・シスⅢ型 138 139 112から133までに掲げるもののほか、ライソゾーム病 139 112から133までに掲げるもののほか、ライソゾーム病 001 遺伝性球法血球症 002 銭状赤血球症 003 グルコースー6ーリン酸脱水素酵素欠乏症 004 口唇赤血球症 005 サラセミア 006 ヒルヒン酸モナーゼ欠乏性貧血 007 不安定へモグロビン症 008 1からフェでに掲げるもののほか、遺伝性溶血性貧血 009 家族性赤血球増加症 011 血小板放出機構製常症 012 血小板無力症 013 ベルナール・スーリエ症候罪 014 11から13までに掲げるもののほか、血小板機能異常症 015 四小板瀬少佐、提機節工造症によるものに限る。) 016 免疫性血小板瀬少性紫斑病 017 16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病 017 16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病 018 血栓性血小板減少性紫斑病 019 骨髄機能症 020 再生不良性貧血 021 寒冷凝集素症 022 発性性素件へモグロビン尿症 023 12 は22に指げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血(AIHAを含む。 024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球病 027 先天性アンチトロンピン欠乏症 029 血皮病A 030 02 加皮病B 031 先天性フェブリノーゲン欠乏症 032 先天性フェブリノーゲン交乏症 033 第又国子欠乏症 034 第四屆子欠乏症 035 第又国子欠乏症 036 第又国子欠乏症 037 第四屆子欠乏症 038 第又国子欠乏症 038 第又国子欠乏症 039 7 + シッノルグランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 元子性血球原異常性貧血 042 八子二二二氧血 043 先天性のコティンで左症 044 元子性の可能の異常性貧血 045 元子性赤血球形成異常性貧血 046 元子性赤血球形成異常性貧血 047 元子性血球形成異常性貧血 048 元子性赤血球形成素素素性貧血 049 45 元子性赤血球形成異常性貧血 044 元子性赤血球形成異常性貧血 045 元子性赤血球形成異常性貧血 046 元子性赤血球形成異常性貧血 047 元子性赤血球形成異常性貧血 048 元子性赤血球形成異常性貧血 049 45 元子性血球形成異常性貧血 049 45 元子性血球形成異常性貧血 049 45 元子性衰極 040 45 15 15 15 15 15 15 15			128	マルチプルスルファターゼ欠損症
131				マンノシドーシス
132 ムコ多糖症甲型				
133				
134				ムコ多糖症世空
135				公司多糖症Ⅵ型
136 ムコリビドーシス工型 137 ムコリビドーシス工型 138 遊離シアル酸蓄積症 139 112から133までに掲げるもののほか、ライソゾーム病 001 遺伝性球状赤血球症 002 鎌状赤血球症 003 グルコース-6-リン酸脱水素酵素欠乏症 004 口唇赤血球症 005 サラセミア 006 ビルビン酸キナーゼ欠乏性貧血 007 不安定へモグロビン症 008 1から7までに掲げるもののほか、遺伝性溶血性貧血 009 家族性赤血球増加症 011 血小板放出機構異常症 012 血小板加工機構異常症 012 血小板減少症 (機能亢進によるものに限る。) 016 色染性血小板減少性 (機能亢進によるものに限る。) 016 色染性血小板減少性 (機能亢進によるものに限る。) 017 16に掲げるもののほか、血小板機能異常症 017 16に掲げるもののほか、血小板減少性業斑病 017 16に掲げるもののほか、血が板減少性業斑病 019 骨髄線維症 020 再生不良性貧血 021 寒冷凝集素症 022 条件性寒冷へモグロビン尿症 022 条件性寒冷へモグロビン尿症 023 21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血 (AIHAを含む。 026 後天性赤芽球痨 027 先天性素が身務 027 先天性赤芽球痨 028 先天性アンチトロンビン欠乏症 028 先天性アンチトロンビン欠乏症 029 血友病A 030 血友病A 031 先天性フロトロンピス定症 032 気状性プロトロンピン欠乏症 033 第以因子欠乏症 034 第四因子欠乏症 035 第又因子欠乏症 036 第又因子欠乏症 037 第四因子欠乏症 038 第又国子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性患球性血小板減少症 042 ファシュニ貧血 043 先天性素が形成異常性貧血 044 先天性素が非形成異常性貧血 044 先天性プロティンC欠乏症 044 先天性素の手形成異常性貧血 044 先天性プロティンC欠乏症 045 先天性素の手形成異常性貧血 044 先天性素の非形成異常な強血 044 先天性素の非形成異常な強血 044 先天性素の非形成異など性血			135	
138				ムコリピドーシスⅡ型(I-cell病)
139 112から138までに掲げるもののほか、ライソゾーム病 001 遺伝性球状赤血球症 002 競状赤血球症 003 グルコース-6-リン酸脱水素酵素欠乏症 005 サラセミア 006 ピルピン酸キナーゼ欠乏性貧血 007 不安定ヘモグロピン症 008 1から7までに掲げるもののほか、遺伝性溶血性貧血 009 家族性赤血球植物加症 010 巨赤芽球性貧血 011 血小板減少症 四水板が増加症 012 血小板減少症 同様性力を表示 012 血小板減少症 同様性力を表示 013 ベルナール・スーリエ症候群 014 11から13までに掲げるもののほか、血小板機能異常症 015 血小板減少性業斑病 016 免疫性血小板減少性業斑病 017 16に掲げるもののほか、血小板減少性業斑病 018 血栓性血小板減少性素斑病 019 骨髄線維症 020 再生不良性貧血 021 寒冷凝集素症 022 発作性寒冷ヘモグロピン尿症 020 再生不良性貧血 021 寒冷凝集素症 022 発作性寒冷ヘモグロピン尿症 023 21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血 (AIHAを含む。024 周財性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球痨 027 先天性赤芽球痨 027 先天性赤芽球痨 027 先天性 赤球サラインを定症 033 第 マライン定症 035 第 スロライン定症 036 第 スロヨイン定症 037 第 四国子欠乏症 038 第 ス田国子欠乏症 037 第 四国子欠乏症 038 第 ス田国子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性無巨核球血のほか、先天性血液凝固因子異常 044 先天性無巨核球血の原染が生命 044 先天性無巨核球血の原染が生命 044 先天性無巨核球血の原染が生命 044 先天性無血球形成異常性動血 043 先天性無血球形成異常性動血 044 先天性無血球形成異常性血の 044 先天性素血球形成異常性動血 044 先天性素血球形成異常性動血 044 先天性素血球形成異常性動血 044 先天性素血球形成異常性動血 044 先天性表血球形成異常性動血 044 先天性力量 044 先天性力量 044 先天性力量 044 先天性力量 044 年末 042 072 044 04				
09 加液疾患				
109 加液疾患 102 鎌状赤血球症 103 17ルコース-6-リン酸脱水素酵素欠乏症 1004 口唇赤血球症 105 サラセミア 106 12 12 12 12 12 12 12 1				
003 グルコース-6-リン酸脱水素酵素欠乏症 004 口唇赤血球症 005 サラセミア 006 ビルビン酸キナーゼ次乏性貧血 007 不安定へ毛グロビン症 008 1から7までに掲げるもののほか、遺伝性溶血性貧血 009 家族性赤血球増加症 010 巨赤芽球性貧血 011 血小板放出機構異常症 012 血小板放出機構異常症 013 ベルナール・スーリエ症候群 014 11から13までに掲げるもののほか、血小板機能異常症 015 血小板波少性紫斑病 016 免疫性血小板減少性紫斑病 017 16に掲げるもののほか、血小板機能異常症 018 血栓性血小板減少性紫斑病 019 骨髓線維症 020 再生不良性貧血 021 寒冷凝集素症 022 発作性実帯でモブロビン尿症 022 発作性実帯によるものに限る。) 018 血栓性血小板減少性紫斑病 019 骨髓線維症 020 再生不良性貧血 021 東冷凝集素症 022 発作性実帯するもののほか、自己免疫性溶血性貧血 (AIHAを含む。022 12及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血 (AIHAを含む。024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球癆 (ダイアモンド・ブラックファン貧血) 027 先天性赤芽球癆 (ダイアモンド・ブラックファン貧血) 028 先天性アンチトロンビン欠乏症 030 位表病 031 先天性フィブリノーゲン欠乏症 032 先天性プロトロンビン欠乏症 032 先天性フィブリノーゲン欠乏症 033 第7 図子欠乏症 034 第7 図子欠乏症 035 第7 図子欠乏症 036 第7 図子欠乏症 037 第7 図子欠乏症 037 第7 図子欠乏症 038 第7 図子欠乏症 039 フォンヴィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性赤血球形成異常性貧血 043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性力がより形成異常性貧血 044 先天性プロインC欠乏症	09	血液疾患		
004 日暦赤血球症 005 サラセミア 006 ビルビン酸キナーゼ欠乏性貧血 007 不安定へモグロビン症 008 1から7までに掲げるもののほか、遺伝性溶血性貧血 009 家族性赤血球増加症 010 巨赤芽球性貧血 011 血小板放出機構異常症 012 血小板無力症 014 目から13までに掲げるもののほか、血小板機能異常症 015 血小板減少症(脾機能亢進症によるものに限る。) 016 免疫性血小板減少性紫斑病 016に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病 017 目に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病 019 骨髄線維症 020 再生不良性貧血 021 寒冷凝集素症 022 発作性寒冷へモグロビン尿症 023 21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血 (AIHAを含む。 024 発作性寒冷へモグロビン尿症 025 真性多血体 026 後天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 (ダイアモンド・ブラックファン貧血) 028 先天性アンチトロンビン欠乏症 030 血友病 031 先天性フィブリノーゲン欠乏症 032 先天性アンチトロンビン欠乏症 033 第VB子欠乏症 034 第四因子欠乏症 035 第又因子欠乏症 036 第又因子欠乏症 037 第20日子欠乏症 038 第又因子欠乏症 037 第20日子欠乏症 038 第又因子欠乏症 037 第20日子欠乏症 038 第又因子欠乏症 037 第20日子欠乏症 038 第又国子欠乏症 037 第20日子欠乏症 038 第23日子欠乏症 037 第20日子欠乏症 038 第23日子欠乏症 037 第20日子欠乏症 037 第20日子欠乏症 038 第23日子欠乏症 037 第20日子欠乏症 037 第20日子交至症 037 第20日子欠乏症 037 第20日子交至症 037 第20日子欠乏症 037 第20日子欠乏症 037 第20日子交至症 027 第20日子交至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至至				
006 ビルビン酸キナーゼ欠乏性貧血 007 不安定へモグロビン症 008 1から7までに掲げるもののほか、遺伝性溶血性貧血 009 家族性赤血球増加症 010 巨赤芽球性貧血 011 血小板放出機構異常症 012 血小板放出機構異常症 013 ペルナール・スーリエ症候群 014 11から13までに掲げるもののほか、血小板機能異常症 015 血小板液少症 (脾機能亢進症によるものに限る。) 016 免疫性溶血性 (脾機能亢進症によるものに限る。) 016 免疫性溶血を関係 (原理			004	口唇赤血球症
007 不安定へモグロピン症 008 1 から 7 までに掲げるもののほか、遺伝性溶血性貧血 009 家族性赤血球増加症 010 巨赤芽球性貧血 011 血小板放出機構異常症 013 ベルナール・スーリエ症候群 014 11から13までに掲げるもののほか、血小板機能異常症 015 血小板液少症 (脾機能亢進症によるものに限る。) 016 免疫性血小板減少性紫斑病 017 16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病 018 血栓性血小板減少性紫斑病 019 骨髓線維症 020 再生不良性貧血 021 寒冷凝集素症 022 発作性寒冷ヘモグロビン尿症 023 21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血 (AIHAを含む。024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性アンチトロンピン欠乏症 026 後天性アンチトロンピン欠乏症 027 先天性赤芽球癆 027 先天性ホ芽球癆 027 先天性ホチ球球癆 027 先天性アンチトロンピン欠乏症 028 先天性アンチトロンピン欠乏症 029 血友病A 030 血友病A 030 血友病A 031 第第以因子欠乏症 033 第以因子欠乏症 034 第加因子欠乏症 035 第以因子欠乏症 036 第以因子欠乏症 037 第以因子欠乏症 038 第以因子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコ=貧血 043 先天性無し球形成異常性貧血 044 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性生命				
1 から7までに掲げるもののほか、遺伝性溶血性貧血 009 家族性素血球増加症 011 血小板無力症 012 血小板無力症 013 ベルナール・スーリエ症候群 014 11から13までに掲げるもののほか、血小板機能異常症 015 血小板減少症 (脾機能亢進症によるものに限る。) 016 免疫性血小板減少性紫斑病 017 16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病 018 血栓性血小板減少性紫斑病 019 骨髓線維症 020 再生不良性貧血 021 寒冷凝集素症 022 発作性素介へモグロビン尿症 022 発作性素介へモグロビン尿症 022 発作性素がモグロビン尿症 023 21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血(AIHAを含む。024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球療 047 先天性赤芽球療 047 先天性赤芽球療 047 先天性大手な多な病 053 先天性プロトロンビン欠乏症 053 先天性プロトロンビン欠乏症 054 先天性プロトロンビン欠乏症 055 第又因子欠乏症 056 第、第、以因子欠乏症 057 第、以因子欠乏症 058 第、以因子欠乏症 059 第、以因子欠乏症 059 第、以因子欠乏症 050 第、以母子次乏症 050 第、以母子次乏症 050 第、以母子次子炎症 050 第、以母子次子症 050 第、以母子次子疾性衰症 050 第、以母子次子症 050 第、以母子次子症 050 第、以母子次子疾性衰症 050 第、以母子外子次子疾性衰症 050 第、以母子外子疾性衰症 050 第、以母子外子外子外子外子外子外子外子外子外子外子外子外子外子外子外子外子外子外子外				ビルビン酸キナーゼ欠乏性貧血
009 家族性赤血球増加症 010 巨赤球性貧血 011 血小板放出機構異常症 012 血小板放出機構異常症 012 血小板流力症 013 ベルナール・スーリエ症候群 014 11から13までに掲げるもののほか、血小板機能異常症 015 血小板減少症(脾機能亢進症によるものに限る。) 016 免疫性血小板減少性紫斑病 017 16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病 018 血栓性血小板減少性紫斑病 018 血栓性血小板減少性紫斑病 019 骨髄線維症 020 再生不良性貧血 021 寒冷凝集素症 022 発作性寒冷ベモグロビン尿症 023 12及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血(AIHAを含む。 024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 027 先天性木芽球癆 (ダイアモンド・ブラックファン貧血) 028 先天性アンチトロンビン欠乏症 029 血友病A 030 血友病B 031 先天性フィブリノーゲン欠乏症 032 先天性フィブリノーゲン欠乏症 033 第V因子欠乏症 034 第四因子欠乏症 035 第又因子欠乏症 036 第又因子欠乏症 037 第四因子欠乏症 038 第又因子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコ二貧血 044 先天性赤亜球形成異常性貧血 044 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天世プロティンC欠乏症				
010 巨赤芽球性貧血 011 血小板放出機構異常症 012 血小板無力症 013 ベルナール・スーリエ症候群 014 11から13までに掲げるもののほか、血小板機能異常症 015 血小板減少症(脾機能亢進症によるものに限る。) 016 免疫性血小板減少性紫斑病 017 16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病 018 面栓性血小板減少性紫斑病 019 骨髄線維症 020 再生不良性貧血 021 寒冷凝集素症 022 発作性寒冷へモグロビン尿症 023 21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血 (AIHAを含む。023 21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血 (AIHAを含む。024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 027 先天性アンチトロンビン欠乏症 029 血友病A 030 血友病A 030 血友病B 031 先天性プロインビン欠乏症 032 先天性プロインビン欠乏症 035 第×因子欠乏症 035 第×因子欠乏症 035 第×因子欠乏症 036 第加因子欠乏症 037 第加因子欠乏症 038 第×エロ子个之定面 038 第×エロ子个之元 039 フォンウィルブランド病 040 29から33までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性未血球形成異常性貧血 044 先天性未血球形異常性貧血 044 先天性未血球形成異常性貧血 044 先天世未血球形成異常性貧血 044 先天世未血球形成異常性貧血 044 先天世未血球形成異常性貧血 044 先天世未血球形成異常性貧血 044 先天世未血球形成異常性貧血 044 先天世未加球形成異常性貧血 044 先天世才可能不知 044 先天世未加球形成異常性貧血 044 先天世子可能不知 044 先天世子可能不知 044 先天世子可能不知 045				
011				
013 ベルナール・スーリエ症候群 014 11から13までに掲げるもののほか、血小板機能異常症 015 血小板減少症(脾機能亢進症によるものに限る。) 016 免疫性血小板減少性紫斑病 017 16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病 018 血栓性血小板減少性紫斑病 019 骨髄線維症 020 再生不良性貧血 021 寒冷凝集素症 022 発作性寒冷へモグロビン尿症 023 21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血 (AIHAを含む。024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 027 先天性ホ芽球癆 027 先天性アンチトロンピン欠乏症 029 血友病A 030 血友病B 031 先天性フィブリノーゲン欠乏症 032 先天性プロトロンピン欠乏症 033 第下因子欠乏症 034 第四因子欠乏症 035 第末因子欠乏症 036 第末因子欠乏症 037 第四因子欠乏症 038 第末回母子欠乏症 038 第末回母子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性素血球形成異常性貧血 044 先天性素血球形成異常性貧血 044 先天性素口ラティンC欠乏症			011	
014 11から13までに掲げるもののほか、血小板機能異常症 015 血小板減少症(脾機能亢進症によるものに限る。) 016 免疫性血小板減少性紫斑病 017 16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病 018 血栓性血小板減少性紫斑病 019 骨髄線維症 020 再生不良性貧血 021 寒冷凝集素症 022 発作性寒冷へモグロビン尿症 023 21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血 (AIHAを含む。 024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 (ダイアモンド・ブラックファン貧血) 028 先天性アンチトロンビン欠乏症 029 血友病A 030 血友病B 031 先天性フィブリノーゲン欠乏症 032 先天性フィブリノーゲン欠乏症 032 先天性フィブリノーゲン欠乏症 033 第V因子欠乏症 035 第次因子欠乏症 035 第次因子欠乏症 036 第次因子欠乏症 037 第2四日子欠乏症 038 第次田母子欠乏症 036 第次因子欠乏症 037 第2日子欠乏症 038 第次田母子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性プロテインC欠乏症 044 先天性プロテインC欠乏症				
015 血小板減少症(脾機能亢進症によるものに限る。) 016 免疫性血小板減少性紫斑病 017 16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病 018 血栓性血小板減少性紫斑病 019 骨髄線維症 020 再生不良性貧血 021 寒冷凝集素症 022 発作性寒冷へモグロビン尿症 023 21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血(AIHAを含む。 024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 030 地友病A 030 地友病B 031 先天性フィブリノーゲン欠乏症 032 先天性プロトロンピン欠乏症 032 先天性プロトロンピン欠乏症 033 第V因子欠乏症 034 第11因子欠乏症 035 第X因子欠乏症 035 第X因子欠乏症 036 第X因子欠乏症 037 第20子父乏症 037 第20子父之症 038 第又田因子欠乏症 037 第20子父之症 038 第又田子父之症 037 第20子父之症 038 第又田母子父之症 037 第20子父之症 038 第又田母子父之症 037 第20子父之症 038 第又田田子父之症 037 第20子父之症 038 第又田田子父之症 037 第20子父之症 038 第又田田子父之症 037 第20子父之症 037 第20子父之症 038 第又田田子父之症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性プロティンC欠乏症				
016 免疫性血小板減少性紫斑病				
017 16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病 018 血栓性血小板減少性紫斑病 019 骨髄線維症 020 再生不良性貧血 021 寒冷凝集素症 022 寒冷凝集素症 022 寒冷凝集素症 023 21及び2に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血(AIHAを含む。 024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球痨 027 先天性赤芽球痨 027 先天性小芽球痨 027 先天性アンチトロンピン欠乏症 029 血友病A 030 血友病B 031 先天性フィブリノーゲン欠乏症 032 先天性フィブリノーゲン欠乏症 033 第V因子欠乏症 033 第又因子欠乏症 035 第又因子欠乏症 035 第又因子欠乏症 036 第又因子欠乏症 037 第四因子欠乏症 038 第又因子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性素血球形成異常性貧血 044 先天性素血球形成異常性貧血 044 先天性プロティンC欠乏症 034 先天性ずロティンC欠乏症 044 先天性素血球形成異常性貧血 044 先天性ずロティンC欠乏症 044 先天性素血球形成異常性貧血 044 先天性ずロティンC欠乏症				<u>皿小放成少症(膵臓能光進症によるものに限る。/</u> 免疫性血小板減小性紫斑病
018 血栓性血小板減少性紫斑病 019 骨髄線維症 020 再生不良性貧血 021 寒冷凝集素症 022 発作性寒冷ヘモグロビン尿症 023 21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血(AIHAを含む。 024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 027 先天性小リノーゲン欠乏症 029 血友病A 030 血友病B 031 先天性フィブリノーゲン欠乏症 032 先天性プロトロンビン欠乏症 032 先天性プロトロンビン欠乏症 033 第V因子欠乏症 034 第四因子欠乏症 035 第又因子欠乏症 036 第五因子欠乏症 037 第五四五子次乏症 038 第五四五子次三元 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性ポーュ・アレード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病
020 再生不良性貧血 東冷凝集素症 021 寒冷凝集素症 022 発作性寒冷ヘモグロビン尿症 023 21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血(AIHAを含む。 024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 (ダイアモンド・ブラックファン貧血) 028 先天性アンチトロンビン欠乏症 029 血友病A 030 血友病B 031 先天性フィブリノーゲン欠乏症 032 先天性プロトロンビン欠乏症 032 先天性プロトロンビン欠乏症 033 第V因子欠乏症 034 第Ⅲ因子欠乏症 035 第X因子欠乏症 036 第N因子欠乏症 037 第M因子欠乏症 037 第M因子欠乏症 038 第X田因子欠乏症 037 第M田子欠乏症 037 第M田子欠乏症 037 第M田子欠乏症 037 第M田子欠乏症 037 第M田子欠乏症 038 第X田田子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性プロティンC欠乏症				血栓性血小板減少性紫斑病
1021 寒冷凝集素症 022 発作性寒冷ヘモグロビン尿症 023 21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血(AIHAを含む。 024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 027 先天性ホ芽球癆 027 先天性アンチトロンビン欠乏症 028 先天性アンチトロンビン欠乏症 029 血友病 A 030 血友病 B 031 先天性フィブリノーゲン欠乏症 032 先天性プロトロンビン欠乏症 033 第V因子欠乏症 033 第V因子欠乏症 035 第X因子欠乏症 036 第N因子欠乏症 037 第四因子欠乏症 038 第X田因子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性プロティンC欠乏症				
022 発作性寒冷ヘモグロビン尿症 023 21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血(AIHAを含む。 024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 028 先天性アンチトロンビン欠乏症 029 血友病A 030 血友病B 031 先天性プロトロンビン欠乏症 032 先天性プロトロンビン欠乏症 033 第V因子欠乏症 034 第四因子欠乏症 035 第 X因子欠乏症 036 第 X因子欠乏症 037 第 X因子欠乏症 038 第 X 田因子欠乏症 037 第 X田子欠乏症 038 第 X 田田子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性プロテインC欠乏症 044 先天性プロテインC欠乏症				
023 21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血(AIHAを含む。 024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆 (ダイアモンド・ブラックファン貧血) 028 先天性アンチトロンビン欠乏症 029 血友病A 030 血友病B 031 先天性フィブリノーゲン欠乏症 032 先天性プロトロンビン欠乏症 032 先天性プロトロンビン欠乏症 034 第四因子欠乏症 035 第区因子欠乏症 036 第区因子欠乏症 036 第区因子欠乏症 037 第四因子欠乏症 038 第区四子欠乏症 038 第区四子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性素血球形成異常性貧血 044 先天性プロテインC欠乏症				
024 周期性血小板減少症 025 真性多血症 026 後天性赤芽球癆 027 先天性赤芽球癆(ダイアモンド・ブラックファン貧血) 028 先天性アンチトロンビン欠乏症 029 血友病 A 030 血友病 B 031 先天性フィブリノーゲン欠乏症 032 先天性プロトロンビン欠乏症 033 第V因子欠乏症 034 第四日子欠乏症 035 第X因子欠乏症 037 第20日子欠乏症 038 第X回日子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性プロテインC欠乏症				
026 後天性赤芽球癆				周期性血小板減少症
027				
028				
029 血友病 A 030 血友病 B 031 先天性フィブリノーゲン欠乏症 032 先天性プロトロンビン欠乏症 033 第V因子欠乏症 034 第四因子欠乏症 035 第 X 因子欠乏症 036 第 X 因子欠乏症 037 第四因子欠乏症 038 第 X Ⅲ 因子欠乏症 038 第 X Ⅲ 因子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性プロテイン C 欠乏症				
030 血友病B 031 先天性フィブリノーゲン欠乏症 032 先天性プロトロンビン欠乏症 033 第V因子欠乏症 034 第四因子欠乏症 035 第X因子欠乏症 036 第N因子欠乏症 036 第N因子欠乏症 037 第四因子欠乏症 038 第XⅢ因子欠乏症 038 第XⅢ因子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性プロテインC欠乏症				
031				
032 先天性プロトロンビン欠乏症 033 第V因子欠乏症 034 第四因子欠乏症 035 第X因子欠乏症 036 第知因子欠乏症 037 第四因子欠乏症 038 第XⅢ因子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性プロテインC欠乏症				先天性フィブリノーゲン欠乏症
034 第四因子欠乏症 035 第X因子欠乏症 036 第X因子欠乏症 037 第四因子欠乏症 038 第XⅢ因子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性プロテインC欠乏症				先天性プロトロンビン欠乏症
035 第X因子欠乏症 036 第XI因子欠乏症 037 第2000000000000000000000000000000000000				
036 第X因子欠乏症 037 第X国因子欠乏症 038 第X 国因子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性プロテインC欠乏症				
037 第2回子欠乏症 038 第3000 第3000 第3000 第2000 第20000 第2000 第2000 第2000 第2000 第2000 第2000 第20000 第2000 第2000 第2000 第20000 第20000 第2				
038 第XⅢ因子欠乏症 039 フォンウィルブランド病 040 29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常 041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性プロテインC欠乏症				
04029から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常041先天性無巨核球性血小板減少症042ファンコニ貧血043先天性赤血球形成異常性貧血044先天性プロテインC欠乏症			038	第ⅩⅢ因子欠乏症
041 先天性無巨核球性血小板減少症 042 ファンコニ貧血 043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性プロテインC欠乏症				
042 ファンコニ貧血 043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性プロテインC欠乏症				
043 先天性赤血球形成異常性貧血 044 先天性プロテインC欠乏症				
044 先天性プロテイン C 欠乏症				
045 先天性プロテインS欠乏症				先天性プロテインS欠乏症
046 鉄芽球性貧血				
047 微小血管障害性溶血性貧血				
048 発作性夜間ヘモグロビン尿症 049 本態性血小板血症				
049 本態性血小板血症 050 無トランスフェリン血症				
050				メイ・ヘグリン異常症
052 溶血性貧血 (脾機能亢進症によるものに限る。)				

	疾患群		疾 病
10	免疫疾患		IgGサブクラス欠損症
			X連鎖無ガンマグロブリン血症 高IgM症候群
			選択的「gA欠損
		005	特異抗体産生不全症
		006	乳児一過性低ガンマグロブリン血症
			分類不能型免疫不全症
			1から7までに掲げるもののほか、液性免疫不全を主とする疾患 周期性好中球減少症
			重症先天性好中球減少症
		011	9及び10に掲げるもののほか、慢性の経過をたどる好中球減少症
			シュワッハマン・ダイアモンド症候群
			白血球接着不全症 慢性肉芽腫症
			ミエロペルオキシダーゼ欠損症
		016	メンデル遺伝型マイコバクテリア易感染症
			12から16までに掲げるもののほか、白血球機能異常
			好酸球増加症 後天性免疫不全症候群(HIV感染によるものに限る。)
			後天的な免疫系障害による免疫不全症
		021	IRAK4欠損症
	1		慢性皮膚粘膜カンジダ症
	1		M y D88欠損症 免疫不全を伴う無汗性外胚葉形成異常症
			21から24までに掲げるもののほか、自然免疫異常
	1	026	遺伝性血管性浮腫(C1インヒビター欠損症)
			先天性補体欠損症
			26及び27に掲げるもののほか、先天性補体欠損症 アデノシンデアミナーゼ(ADA)欠損症
			X連鎖重症複合免疫不全症
		031	オーメン症候群
			細網異形成症
		033	ZAP-70欠損症 CD8欠損症
			<u>CD8欠損症</u> プリンヌクレオシドホスホリラーゼ欠損症
			MHCクラスI欠損症
			MHCクラスII欠損症
			29から37までに掲げるもののほか、複合免疫不全症 慢性移植片対宿主病
			慢性活動性EBウイルス感染症
		041	X連鎖リンパ増殖症候群
		2.42	自己免疫性リンパ増殖症候群(ALPS)
			チェディアック・東症候群 41から43までに掲げるもののほか、免疫調節障害
			ICF症候群
		046	ウィスコット・オルドリッチ症候群
			肝中心静脈閉鎖症を伴う免疫不全症
			<u>胸腺低形成(ディ・ジョージ症候群/22 q 11. 2欠失症候群)</u> 高 I g E症候群
			シムケ症候群
	1	051	先天性角化異常症
	1		ナイミーヘン染色体不安定症候群
	1	053 054	PMS 2 異常症 ブルーム症候群
	1		ラルーム症候群 毛細血管拡張性運動失調症
		056	RIDDLE症候群
11	神経・筋疾		亜急性硬化性全脳炎
	患	002	アレキサンダー病 カナバン病
	1		先天性大脳白質形成不全症
	1	005	白質消失病
	1	006	皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症
	1		エカルディ・グティエール症候群 ATR-X症候群
			海綿状血管腫(脳脊髄)
	1	010	ウルリヒ型先天性筋ジストロフィー(類縁疾患を含む。)
	1	011	エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー
	1	012 013	<u>顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー</u> 肢帯型筋ジストロフィー
	1	014	
	1	015	福山型先天性筋ジストロフィー
	1		メロシン欠損型先天性筋ジストロフィー
	<u> </u>	017	10から16までに掲げるもののほか、筋ジストロフィー

	疾患群		疾 病
11	5th 4∇ 5t5 st	018	痙攣重積型(二相性)急性脳症
11	神経・筋疾	019	自己免疫介在性脳炎・脳症
	患	020	重症筋無力症
		021	ジュベール症候群関連疾患
		022	シュワルツ・ヤンペル症候群
		023	小児交互性片麻痺
		024	結節性硬化症
		025	ゴーリン症候群(基底細胞母斑症候群)
		026	神経皮膚黒色症
		027	スタージ・ウェーバー症候群
		028	フォンヒッペル・リンドウ病
		029 030	ウンフェルリヒト・ルントボルク病 ラフォラ病
		030	アペール症候群
			クルーゾン病
		033	非症候性頭蓋骨縫合早期癒合症
		034	31から33までに掲げるもののほか、重度の頭蓋骨早期癒合症
		035	脆弱×症候群
		036	脊髓小脳変性症
		037	脊髄脂肪腫
		038	髄膜脳瘤
			脊髄髄膜瘤
			脊髄性筋萎縮症
		041	先天性サイトメガロウイルス感染症
		042	先天性トキソプラズマ感染症
		043	先天性風疹症候群
		044	先天性ヘルペスウイルス感染症
		045	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症
		046 047	遺伝性運動感覚ニューロパチー
		047	先天性無痛無汗症 生天性無痛無汗症
		048	先天性筋線維不均等症 セントラルコア病
		050	ネマリンミオパチー
		051	マルチコア病
		052	ミオチュブラーミオパチー
		053	ミニコア病
		054	48から53までに掲げるもののほか、先天性ミオパチー
		055	仙尾部奇形腫
		056	ウェルナー症候群
		057	コケイン症候群
			ハッチンソン・ギルフォード症候群
		059	多発性硬化症
		060 061	点頭てんかん(ウエスト症候群)
		062	<u>乳児重症ミオクロニーてんかん</u> レノックス・ガストー症候群
		063	対した カストー 症候群
		064	乳児両側線条体壊死
		065	脳クレアチン欠乏症候群
		066	滑脳症
		067	巨脳症一毛細血管奇形症候群
		068	全前脳胞症
		069	先天性水頭症
		070	ダンディー・ウォーカー症候群
		071	中隔視神経形成異常症(ドモルシア症候群)
		072	製脳症
		073	脳動静脈奇形
		074	乳児神経軸索ジストロフィー
		075 076	パントテン酸キナーゼ関連神経変性症
		076	瀬川病 変形性筋ジストニー
		078	変形性肪ンストニー 慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー
		078	世代交征性院師性多光仲柱女/多米性連動―ユーロバナー もやもや病
		080	ラスムッセン脳炎
		081	レット症候群
10	を なった と で は と は と は と は と は と は と は と は と は と	001	潰瘍性大腸炎
12	慢性消化器疾患	002	クローン病
	患	003	自己免疫性腸症(IPEX症候群を含む。)
		004	早期発症型炎症性腸疾患
		005	肝巨大血管腫
		006	先天性門脈欠損症
		007	門脈圧亢進症(バンチ症候群を含む。)
		800	門脈・肝動脈瘻

12 慢性消化器疾 10 大変性性機種症 11 アラジール症候群 10 11 元素性胆道肽症症 10 10 加速 10 10 10 10 10 10 10 1		疾患群		疾病
### 101	12	温性消化哭症		
101	12			
13 連行性家族性肝内胆汁方っ滞症		<i>1</i> 5.		
11				
1015				進行性多族性肝内胆가りつ滞症 生工性多発圧内胆等抗進症(カロリ症)
10 10 10 10 10 10 10 10				
1017 急性肝不全 (昏睡型) 018				
1019 周別任命社主接検討 1020 総排金物及反症 1021 総排金物及反症 1024 1025 1026				急性肝不全(昏睡型)
13 20 20 20 20 20 20 20 2				クリグラー・ナジャー症候群
13 13 14 15 15 15 15 15 15 15				周期性嘔吐症候群
13 202 知藤症 102				総排泄腔遺残
13				
024 エンテロキナーゼ欠損症 024 エンテロキナーゼ欠損症 026 元天性グルコース・ガラクトース吸収不良症 027 機能を対した 028 乳糖不配症 029 機能を対した 028 乳糖不配症 029 機能を対した 028 乳糖不配症 029 機能を対した 030 リバーゼ欠損症 030 リバーゼ欠損症 031 遺伝性膵炎 032 遺伝性膵炎 033 は性腱炎 034 自大膀胱辺小結隔腸管蠕動 035 腸管神経節細胞僅少症 036 にレシュスブルング病 037 慢性特条性偽性腸閉塞症 038 家体性療性パリポーシス 041 ポイツ・ジェガース症候群 042 原発性促性胆管炎 043 自己免疫性肝炎 044 新生児・モリロマトーシス 044 新生児・モリロマトーシス 041 ポイツ・ジェガース症候群 042 原発性促性胆管炎 043 自己免疫性肝炎 044 新生児・モリロマトーシス 041 ポイツ・ジェガース症候群 042 原発性促性胆管炎 043 自己免疫性肝炎 044 新生児・モリロマトーシス 041 ポイツ・ジェガース症候群 042 原発性皮性胆管炎 043 自己免疫性肝炎 044 新生児・モリロマトーシス 044 新生児・モリロマトーシス 045 原発性皮性胆管炎 046 家年以上の工作を検討 047 アンド・レー・ビクス 048 ドリンミー症候群 048 ドリンミー症候群 048 ドリンミー症候群 049 アンド・レ・ビクス 048 ドリンミー症候群 010 ME CP スール・ビクス 048 ドリンミー症候群 011 加速度症候群 011 加速度症候群 011 カムラティ・エンゲルマン症候群 011 コスイン・ローリー症候群 011 コス・シリス症候群 011 コス・シリス症候群 011 コス・シリス症候群 011 ロース・ストライク症候群 011 ロース・ストライク症候群 012 カス・ス・レーリ・オビッツ症候群 022 スミス・レーリ・オビッツ症候群 022 スミス・マギニス症候群 023 スミス・レーリ・オビッツ症候群 023 スミス・レーリ・オビッツ症候群 023 スミス・レーリ・オビッツ症候群 023 スミス・レーリ・オビッツ症候群 025 ス・フィン・フィー・ロース・フィン・ローリーの経験 027 アンアン・アーロ症候群 028 ベックウィズ・ヴィーアマン症候群 028 ベックウィズ・ヴィーアマン症候群 029 マルファン症候群 029 マルファン症候群 029 マルファン症候群 029 マルファン症候群 029 マルファン症候群 030 メビクシェンアソン症候群 031 ルビンショタイン・デビ症候群 031 ルビンショタイン・デビを検替 031 ルビンショタイン・デビを検替 031 ルビンショタイン・デビを検替 031 ルビジンショイン・デビを検替 031 ルビジンショイン・デビを検替 031 ルビジン・ジョン・グロースを検替 031 ルビジン・ジョン・グロースを検替 031 ルビジン・グロースを検替 031 ルビジン・グロースを使用 031 ルビジン・グロースを使用 031 ルビースを使用 031 ルビースを使用 032 ルビースを使用 032 ルビースを使用 032 ルビースを使用 032 ルビースを使用 033 ルビースを使用 033 ルビースを使用 034				
025 2 3歳イソ麦芽糖分解酵素欠損症 027 18以 リンパ管拡張症 028 乳粧不耐症 029 028 乳粧不耐症 029 029 025 025 025 025 025 026 027 027 027 028 0				エンテロキナーゼ欠損症
026				ショ糖イソ麦芽糖分解酵素欠損症
028				 先天性グルコース・ガラクトース吸収不良症
029 微絨毛封入体病 031 34 12 12 12 12 12 12 12 1				
13 33 33 34 34 34 34 34				
031 遠伝性膝炎 032 自己免疫性離炎 033 非特異性多発性小腸潰瘍症 034 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動 036 ヒルシュスブルング病 037 慢性特免性偽性腺溶症 038 カウデン症候群 039 家族性硬化性胆管炎 040 ボイツ・ジェガース症候群 041 ボイツ・ジェガース症候群 042 原発性硬化性胆管炎 043 自己免疫性肝炎 044 新生児へモクロマトーシス 001 アンジェルマン症候群 002 5 定機健群 003 13トリソミー症候群 006 4 18トリソミー症候群 007 7ラジェルマン症候群 007 7ラジェルマン症候群 008 7シトレー・ピクスラー症候群 007 7ラジー・ウィリ症候群 007 7ラダー・ウィリ症候群 008 7シトレー・ピクスラー症候群 011 歌舞伎症候群 011 歌舞伎症候群 011 歌舞伎症候群 011 和、カムラティ・エンゲルマン症候群 011 101				
032 自己免疫性膝炎				リハーセス技址
033 非特異性多発性小腸溃痛症 034 巨大膀胱短小結腸管 13				自己免疫性膵炎
0.34 巨大膀胱短小結腸陽端動か全症 0.35 態管神経節細胞僅少症 0.36 ビルシュスブルング病 0.37 慢性特発性偽性腸閉塞症 0.38 カウテン症候群 0.39 家族性腺腫性ポリポーシス 0.41 ポイツ・ジェガース症候群 0.42 原発性硬化性胆管炎 0.42 の42 の42 の44 新生児へモクロマトーシス 0.41 の45				
13 13 24 24 24 24 24 24 24 2			034	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症
13				
138 カウデン症候群 039 家族性腺腫性ポリポーシス 041 ポイツ・ジェガース症候群 042 原発性硬化性間管炎 043 自己免疫性肝炎 044 新生児ペモクロマトーシス 001 アンェルマン症候群 002 5 p-症候群 003 18トリンミー症候群 006 4 p-症候群 006 4 p-症候群 007 7ラグ・・ウィリ症候群を除く。) 008 アントレー・ピクスラー症候群 010 ME C P 2重 複症候群 011 歌舞伎症候群 011 歌舞伎症候群 011 歌舞伎症候群 011 歌舞伎症候群 011 014 コフィン・ローリー症候群 015 コフィン・ローリー症候群 016 コルネリア・デランゲ症候群 017 C F C 症候群 018 名大シリス症候群 019 シンブソン・ゴラビ・ベーメル症候群 011 016 コルネリア・デランゲ症候群 017 C F C 症候群 018 色素失調症 019 シンブソン・ゴラビ・ベーメル症候群 020 スミス・レムリ・オビッツ症候群 021 スミス・レムリ・オビッツ症候群 022 ソトス症候群 022 ソトス症候群 023 武内・小崎症候群 024 チャージ症候群 025 ハーラマン・ストライフ症候群 026 VATER症候群 027 ファイファー症候群 028 ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 029 マルファン症候群 029 マルファン症候群 020 マルファン症候群 021 マーク・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア				
13 200 家族性腺腫性ポリポーシス 040 若年性ポリポーシス 041 ポイツ・ジェガース症候群 042 原発性硬化性胆管炎 043 自己免疫性肝炎 044 新生児ヘモクロマトーシス 001 アンジェルマン症候群 002 5p -症候群 003 13トリソミー症候群 005 ダウン症候群 006 4p -症候群 006 4p -症候群 007 7ラダー・ウィリ症候群を除く。) 008 アントレー・ピクスラー症候群 010 MECP2重複症候群 011 数舞伎症候群 011 数舞伎症候群 011 数男女症候群 011 3カムラティ・エンゲルマン症候群 011 3コステロ症候群 011 3コステロ症候群 015 コフィン・シリス症候群 015 コフィン・シリス症候群 016 コルネリア・デランゲ症候群 017 CFC症候群 018 色素失調症 019 シンブソ・ゴラビ・ベーメル症候群 018 色素失調症 019 シンブソ・ゴラビ・ベーメル症候群 020 スミス・マギニス症候群 021 スミス・マギニス症候群 022 ソトス症候群 022 ソトス症候群 024 デャージ症候群 025 ハーラマン・ストライフ症候群 026 VATER症候群 027 ファイファー症候群 028 ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 029 マルファン症候群 029 マルファン症候群 021 マング・フィ・ジーズ・ヴィーデマン症候群 021 マング・フィ・ヴィーデマン症候群 022 ヤング・ジンブソン症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・ティビ症候群 035 アグ・ログログログログログログログログログログログログログログログログログログロ				
13 染色体又は遺 10 10 10 10 10 10 10 1				
13 条色体又は遺伝子に変化を				
13 2 2 2 3 3 3 3 3 3				
2044 新生児へモクロマトーシス 13 13 14 15 15 16 16 17 17 17 17 17 17			042	
13				
10 10 10 10 10 10 10 10				
(はすに変化を (中) 立成 (中) 2 に (中) 2	13	染色体又は遺		アンジェルマン症候群
18トリンミー症候群				
005 ダウン症候群 006 4 p-症候群 007 1 から 6 までに掲げるもののほか、常染色体異常(ウィリアムズ症候群及び プラダー・ウィリ症候群を除く。) 008 アントレー・ビクスラー症候群 009 ウィーバー症候群 010 ME C P 2 重複症候群 011 歌舞伎症候群 012 カムラティ・エンゲルマン症候群 013 コステロ症候群 014 コフィン・シリス症候群 015 コフィン・ローリー症候群 016 コルネリア・デランゲ症候群 017 C F C症候群 018 色素失調症 019 シンブソン・ゴラビ・ベーメル症候群 020 スミス・マギニス症候群 021 スミス・レムリ・オピッツ症候群 021 スミス・レムリ・オピッツ症候群 022 ソトス症候群 022 ソトス症候群 022 フィン・ストライフ症候群 023 武内・小崎症候群 024 チャージ症候群 025 ハーラマン・ストライフ症候群 026 VATER症候群 027 ファイファー症候群 028 ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 029 マルファン症候群 029 マルファン症候群 030 メビウス症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンブソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群		伴う症候群		18トリソミー症候群
006 4 p-症候群				ダウン症候群
008			006	
008 アントレー・ビクスラー症候群 009 ウィーバー症候群 010 MECP2 重複症候群 011 歌舞伎症候群 012 カムラティ・エンゲルマン症候群 013 コステロ症候群 014 コフィン・シリス症候群 015 コフィン・ローリー症候群 016 コルネリア・デランゲ症候群 017 CFC症候群 018 色素失調症 019 シンブソン・ゴラビ・ベーメル症候群 020 スミス・マギニス症候群 021 スミス・レムリ・オピッツ症候群 021 スミス・レムリ・オピッツ症候群 022 ソトス症候群 022 ソトス症候群 023 武内・小崎症候群 024 チャージ症候群 025 ハーラマン・ストライフ症候群 026 VATER症候群 027 ファイフアー症候群 028 ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 029 マルファン症候群 029 マルファン症候群 030 メビウス症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンブソン症候群 032 ヤング・シンブソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群 033 ルビンシュタイン・ティビ症候群 033 ルビンシュタイン・ティビ症候群 033 ルビンシュタイン・ティビ症候群 030 10 10 10 10 10 10 1			007	
009 ウィーバー症候群 010 MECP2 重複症候群 011 m数度症候群 012 カムラティ・エンゲルマン症候群 013 コステロ症候群 014 コフィン・シリス症候群 015 コフィン・ローリー症候群 017 CF C症候群 018 色素失調症 019 シンプソン・ゴラビ・ベーメル症候群 020 スミス・マギニス症候群 021 スミス・レムリ・オピッツ症候群 022 ソトス症候群 023 武内・小崎症候群 024 チャージ症候群 025 ハーラマン・ストライフ症候群 026 VATER症候群 027 ファイファー症候群 028 ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 029 マルファン症候群 030 メビウス症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群			000	
010 MECP2 重複症候群				
011 歌舞伎症候群 012 カムラティ・エンゲルマン症候群 013 コステロ症候群 014 コフィン・シリス症候群 015 コフィン・ローリー症候群 016 コルネリア・デランゲ症候群 017 C F C 症候群 018 色素失調症 020 スミス・マギニス症候群 021 スミス・レムリ・オピッツ症候群 022 ソトス症候群 023 武内・小崎症候群 024 チャージ症候群 025 ハーラマン・ストライフ症候群 026 VATER症候群 027 ファイファー症候群 028 ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 030 メビウス症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群				MECP2重複症候群
012 カムラティ・エンゲルマン症候群 013 コステロ症候群 014 コフィン・シリス症候群 015 コフィン・ローリー症候群 016 コルネリア・デランゲ症候群 017 CF C症候群 018 色素失調症 019 シンプソン・ゴラビ・ベーメル症候群 020 スミス・マギニス症候群 021 スミス・レムリ・オピッツ症候群 022 ソトス症候群 023 武内・小崎症候群 024 チャージ症候群 025 ハーラマン・ストライフ症候群 026 VATER症候群 027 ファイファー症候群 028 ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 030 メビウス症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群			011	
014 コフィン・シリス症候群 015 コフィン・ローリー症候群 016 コルネリア・デランゲ症候群 017 CF C症候群 018 色素失調症 019 シンプソン・ゴラビ・ベーメル症候群 020 スミス・マギニス症候群 021 スミス・レムリ・オピッツ症候群 022 ソトス症候群 023 武内・小崎症候群 024 チャージ症候群 025 ハーラマン・ストライフ症候群 026 VATER症候群 027 ファイファー症候群 028 ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 030 メビウス症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群				カムラティ・エンゲルマン症候群
015 コフィン・ローリー症候群 016 コルネリア・デランゲ症候群 017 CFC症候群 018 色素失調症 019 シンプソン・ゴラビ・ベーメル症候群 020 スミス・マギニス症候群 021 スミス・レムリ・オピッツ症候群 022 ソトス症候群 023 武内・小崎症候群 024 チャージ症候群 025 ハーラマン・ストライフ症候群 026 VATER症候群 027 ファイファー症候群 028 ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 030 メレウス症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群				
016 コルネリア・デランゲ症候群 017 CFC症候群 018 色素失調症 019 シンブソン・ゴラビ・ベーメル症候群 020 スミス・マギニス症候群 021 スミス・レムリ・オピッツ症候群 022 ソトス症候群 023 武内・小崎症候群 024 チャージ症候群 025 ハーラマン・ストライフ症候群 027 ファイファー症候群 028 ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 029 マルファン症候群 030 メビウス症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群				
017CFC症候群018色素失調症019シンプソン・ゴラビ・ベーメル症候群020スミス・マギニス症候群021スミス・レムリ・オピッツ症候群022ソトス症候群023武内・小崎症候群024チャージ症候群025ハーラマン・ストライフ症候群026VATER症候群027ファイファー症候群028ベックウィズ・ヴィーデマン症候群030メビウス症候群031モワット・ウィルソン症候群032ヤング・シンプソン症候群033ルビンシュタイン・テイビ症候群				
018 色素失調症				
019 シンプソン・ゴラビ・ベーメル症候群 020 スミス・マギニス症候群 021 スミス・レムリ・オピッツ症候群 022 ソトス症候群 023 武内・小崎症候群 024 チャージ症候群 025 ハーラマン・ストライフ症候群 026 VATER症候群 027 ファイファー症候群 028 ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 029 マルファン症候群 030 メビウス症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群				
021スミス・レムリ・オピッツ症候群022ソトス症候群023武内・小崎症候群024チャージ症候群025ハーラマン・ストライフ症候群026VATER症候群027ファイファー症候群028ベックウィズ・ヴィーデマン症候群029マルファン症候群030メビウス症候群031モワット・ウィルソン症候群032ヤング・シンプソン症候群033ルビンシュタイン・テイビ症候群			019	シンプソン・ゴラビ・ベーメル症候群
022 ソトス症候群 023 武内・小崎症候群 024 チャージ症候群 025 ハーラマン・ストライフ症候群 026 VATER症候群 027 ファイファー症候群 028 ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 029 マルファン症候群 030 メビウス症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群				
023武内・小崎症候群024チャージ症候群025ハーラマン・ストライフ症候群026VATER症候群027ファイファー症候群028ベックウィズ・ヴィーデマン症候群029マルファン症候群030メビウス症候群031モワット・ウィルソン症候群032ヤング・シンプソン症候群033ルビンシュタイン・テイビ症候群				
024チャージ症候群025ハーラマン・ストライフ症候群026VATER症候群027ファイファー症候群028ベックウィズ・ヴィーデマン症候群029マルファン症候群030メビウス症候群031モワット・ウィルソン症候群032ヤング・シンプソン症候群033ルビンシュタイン・テイビ症候群				フトヘ延修符 武内・小崎庁候群
025 ハーラマン・ストライフ症候群 026 VATER症候群 027 ファイファー症候群 028 ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 029 マルファン症候群 030 メビウス症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群				
026 VATER症候群 027 ファイファー症候群 028 ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 029 マルファン症候群 030 メビウス症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群				
027 ファイファー症候群 028 ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 029 マルファン症候群 030 メビウス症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群				
029 マルファン症候群 030 メビウス症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群				ファイファー症候群
030 メビウス症候群 031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群				
031 モワット・ウィルソン症候群 032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群				
032 ヤング・シンプソン症候群 033 ルビンシュタイン・テイビ症候群				
033 ルビンシュタイン・テイビ症候群				<u> に </u>

	疾患群	
14	中唐走中	001 【眼皮膚白皮症(先天性白皮症)
14	皮膚疾患	002 色素性乾皮症
		003 スティーヴンス・ジョンソン症候群(中毒性表皮壊死症を含む。)
		004 ケラチン症性魚鱗癬(表皮融解性魚鱗癬(優性/劣性)及び表在性表皮融解
		性魚鱗維を含む。)
		005 シェーグレン・ラルソン症候群
		006 常染色体劣性遺伝性魚鱗癬(道化師様魚鱗癬を除く。)
		007 道化師様魚鱗癬
		008 ネザートン症候群
		009 4から8までに掲げるもののほか、先天性魚鱗癬
		010 膿疱性乾癬(汎発型)
		011 肥厚性皮膚骨膜症
		012 表皮水疱症
		013 無汗性外胚葉形成不全
-		014 レックリングハウゼン病 (神経線維腫症 I 型) 001 胸郭不全症候群
15	骨系統疾患	002 偽性軟骨無形成症
		1002
		004 骨硬化性疾患
		005 進行性骨化性線維異形成症
		006 大理石骨病
		007 多発性軟骨性外骨腫症
		008 低ホスファターゼ症
		009 TRPV4異常症
		010 点状軟骨異形成症 (ペルオキシソーム病を除く。)
		011 内軟骨腫症
		012 軟骨低形成症
		013 軟骨無形成症
		014 2型コラーゲン異常症関連疾患
		015 ビールズ症候群
		016 ラーセン症候群
16	脈管系疾患	001 遺伝性出血性末梢血管拡張症
		002 カサバッハ・メリット現象(症候群)
		003 青色ゴムまり様母斑症候群
		- 003 巨人 <u>駅静脈可形</u> - 006 クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群
		- 000 グリッヘル・トレノネー・フェーバー症候群 - 007 原発性リンパ浮腫
		007
		- 000 リンパ管腫症
		